

## 地域医療シンポジウム 来場者アンケート結果概要

### 1. 開催概要

日時 令和6年1月21日（日）午前10時00分～

場所 舞鶴市商工観光センター

主催 舞鶴市

共催 舞鶴医療センター、舞鶴共済病院、舞鶴赤十字病院、舞鶴市民病院、  
舞鶴医師会

次第 開会

主催者あいさつ（舞鶴市長）

来賓あいさつ（舞鶴市議会議長）

#### 第1部

これまでの地域医療に関する取り組み

（持続可能な地域医療を考える会中間報告）

舞鶴市長

鴨田 秋津

#### 第2部

パネルディスカッション「医療現場の現状と今後の展望」

コーディネーター

舞鶴市民病院 病院長

井上 重洋

パネリスト

京都府立医科大学

医療センター所長

皮膚科学教室 教授

加藤 則人

舞鶴医療センター 院長

法里 高

舞鶴共済病院 病院長

沖原 宏治

舞鶴赤十字病院 院長

片山 義敬

舞鶴医師会長

隅山 充樹

### 2. 来場者数

250名

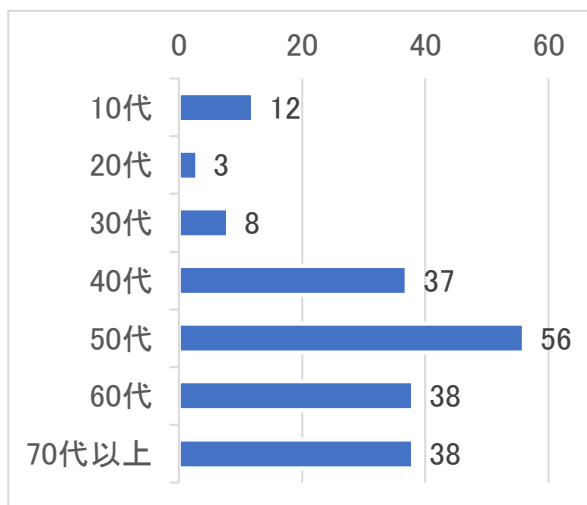
### 3. アンケート回収数

総数195件（回収率78%）

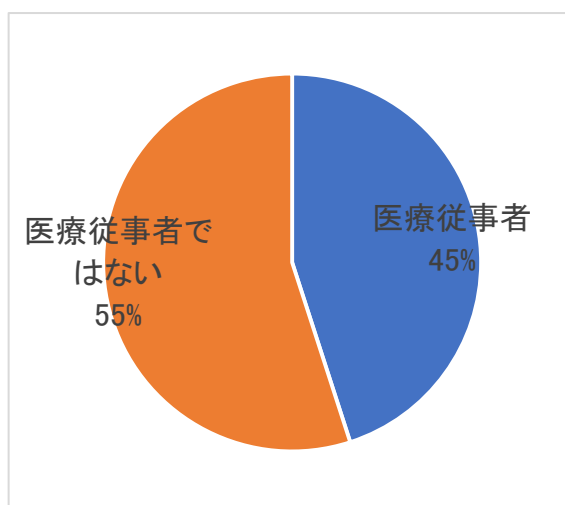
（医療従事者85件、非医療従事者104件、未回答6件）

#### 4. 結果概要

##### (1) 年代 (人)



##### (2) 医療従事者別 (割合)



##### ①回答者全体 (年代)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答	合計
回答数	12	3	8	37	56	38	38	3	195
割合	6%	2%	4%	19%	29%	19%	19%	2%	

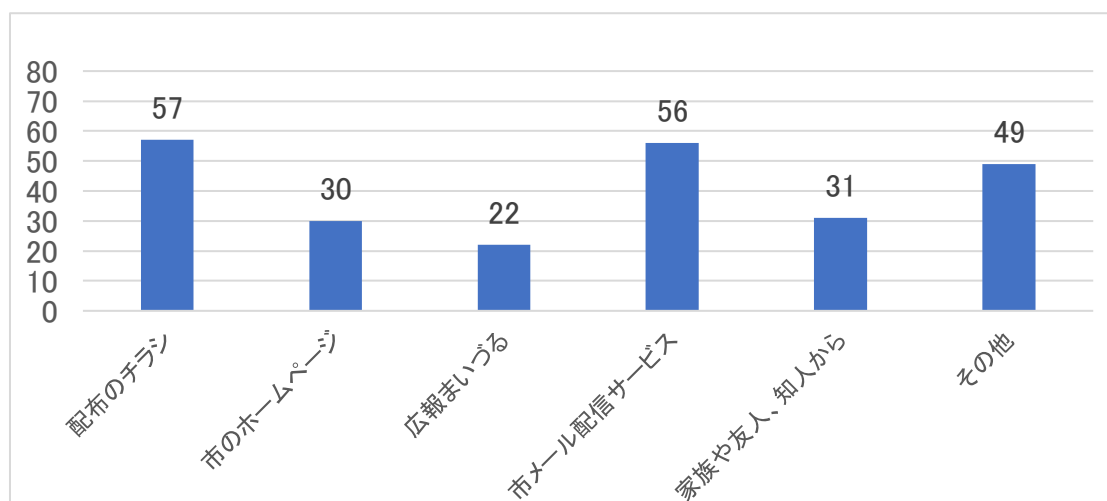
##### ①のうち医療従事者と回答した来場者

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
回答数	0	0	4	25	36	15	5	85
割合	0%	0%	5%	29%	42%	18%	6%	

##### ①のうち医療従事者ではないと回答した来場者

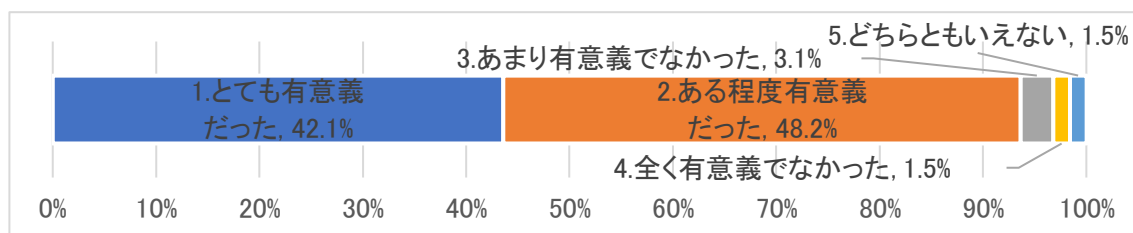
年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
回答数	12	2	4	12	18	23	33	104
割合	12%	2%	4%	12%	17%	22%	32%	

##### (3) 地域医療シンポジウムの開催をどのように知りましたか (複数回答)

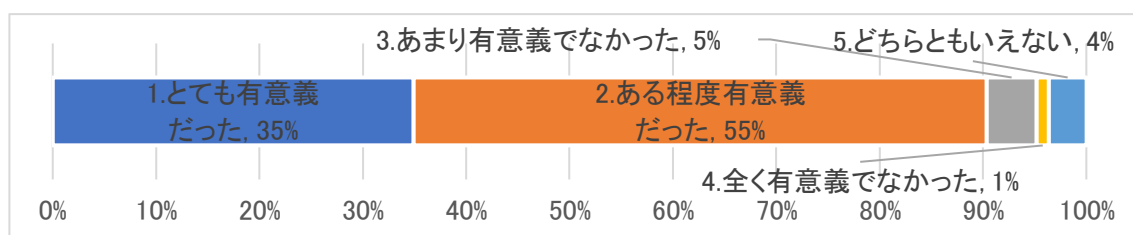


(4) 地域医療シンポジウムは有意義でしたか。

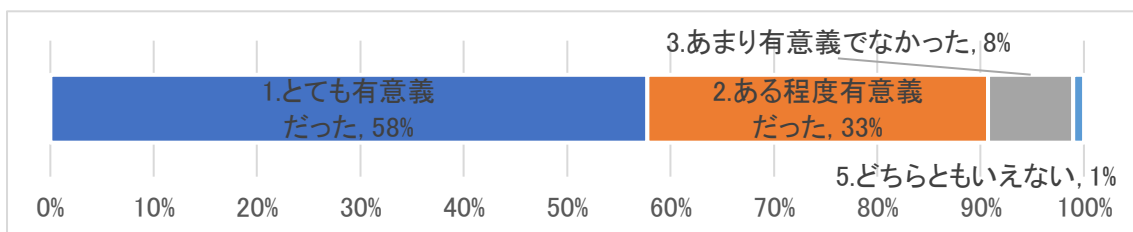
①回答者全体



②医療従事者の回答



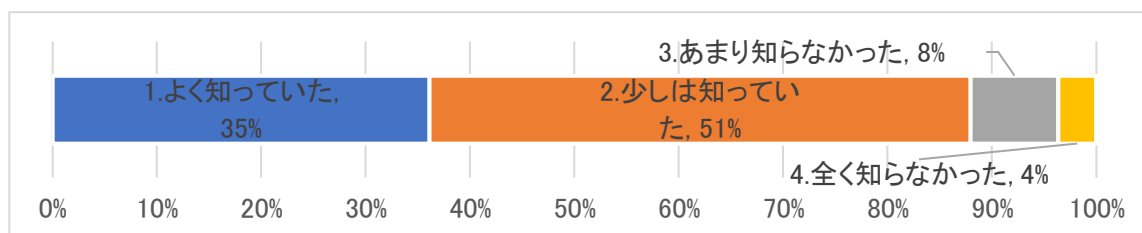
③非医療従事者の回答



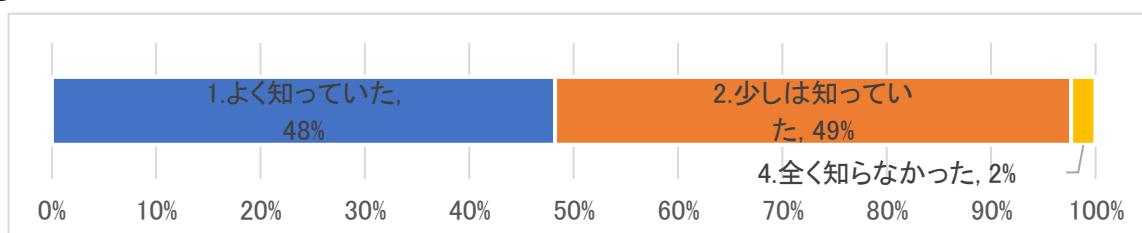
質問	全体		医療従事者		非医療従事者	
	人数	%	人数	%	人数	%
1.とても有意義だった	82	42.1%	29	35%	56	58%
2.ある程度有意義だった	94	48.2%	46	55%	32	33%
3.あまり有意義でなかった	6	3.1%	4	5%	8	8%
4.全く有意義でなかった	3	1.5%	1	1%	0	0%
5.どちらともいえない	3	1.5%	3	4%	1	1%
未回答	7	4%				
	195		83		97	

(5) 地域医療の現状や課題について知っている内容でしたか

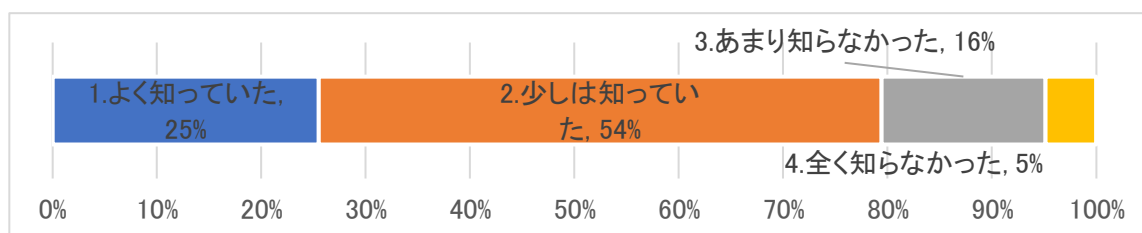
①回答者全体



②医療従事者の回答



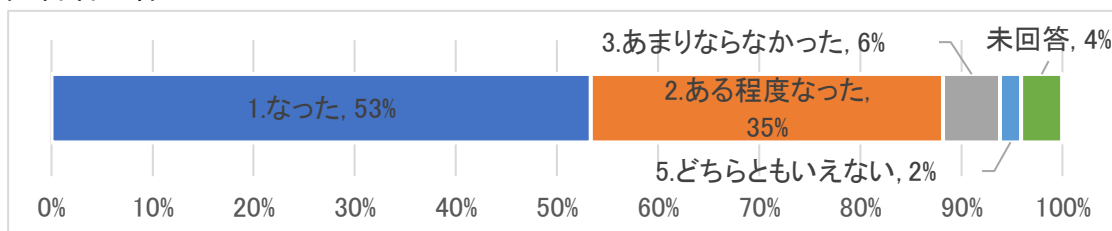
③非医療従事者の回答



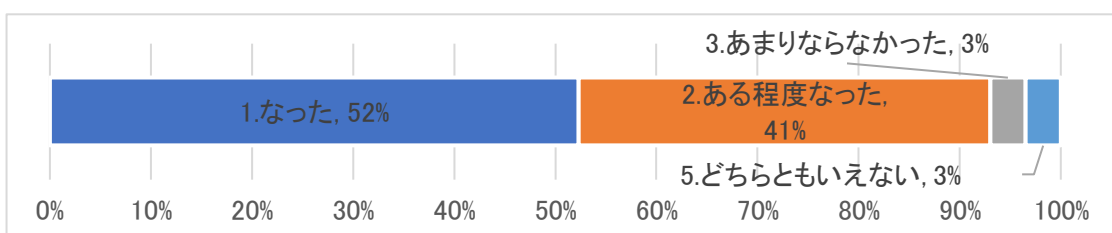
質問	全体回答		医療従事者		非医療従事者	
	回答	%	回答	%	回答	%
1.よく知っていた	69	35%	41	48%	26	25%
2.少しは知っていた	99	51%	42	49%	55	54%
3.あまり知らなかった	16	8%	0	0%	16	16%
4.全く知らなかった	7	4%	2	2%	5	5%
未回答	4	2%				
合計	195		85		102	

(6) 舞鶴の地域医療について考えるきっかけになりましたか

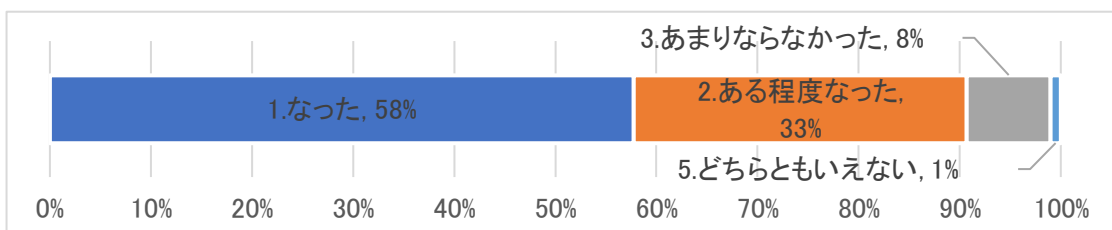
①回答者全体



②医療従事者の回答

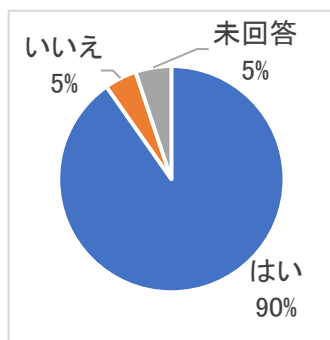


③非医療従事者の回答



質問	回答全体		医療従事者		非医療従事者	
	回答	%	回答	%	回答	%
1.なった	104	53%	45	52%	56	58%
2.ある程度なった	68	35%	35	41%	32	33%
3.あまりならなかった	11	6%	3	3%	8	8%
4.全くならなかった	0	0%	0	0%	0	0%
5.どちらともいえない	4	2%	3	3%	1	1%
未回答	8	4%				
合計	195		86		97	

(7) 今後同様のシンポジウムがあれば参加したいですか。



質問	回答数	%
はい	176	90%
いいえ	9	5%
未回答	10	5%
	195	

医療従事者	%
81	96%
3	3%
84	

非医療従事者	%
92	94%
6	6%
98	

(8) その他自由記述

別紙のとおり

アンケート結果集計 (抜粋)

- 地域医療シンポジウムを有意義と肯定的に回答した割合は90%  
このうち、「とても有意義だった」と回答した割合は42%
  - ・ 医療従事者で「とても有意義だった」と回答した割合は35%
  - ・ 非医療従事者で「とても有意義だった」と回答した割合は58%
- 地域医療の現状や課題を「よく知っていた」と回答した割合は35%
  - ・ 医療従事者で、現状課題を「よく知っていた」と回答した割合は48%
  - ・ 非医療従事者で、現状課題を「よく知っていた」と回答した割合は25%
- 舞鶴の地域医療について考えるきっかけになったと回答した割合は53%
  - ・ 医療従事者で「考えるきっかけになった」と回答した割合は52%
  - ・ 非医療従事者で「考えるきっかけになった」と回答した割合は58%
- 今後同様のシンポジウムがあれば参加したいと回答した割合は90%
  - ・ 医療従事者で、「参加したい」と回答した割合は96%
  - ・ 非医療従事者で「参加したい」と回答した割合は94%

## (8) アンケート自由記述

### 【医療従事者からの意見】

#### 「とても有意義だった」と回答した医療従事者

- ・ 各病院長や大学の考え方を聞いて、今後の舞鶴の医療を考えさせられたから。
- ・ 4病院長が市民に対して問題提起することは今までなかったから。
- ・ 舞鶴市の医療環境がよく理解できたから。
- ・ 舞鶴の現状を知ることができ、この課題を何とかするために動いていることがわかってよかった。
- ・ 舞鶴市の4病院や医師会が、何が問題でどこへ向かっているのかが分かったから。
- ・ 各病院が抱える課題や市や地域の課題がよくわかったから。
- ・ 現状がよく理解できたから。

#### ※自由記述欄

- 各病院長の考えや大学の考えも聞いて、今後の舞鶴の医療を考えさせられた。
- 病院の院長達が自分の病院をどうしたいのか、本音を聞きたかった。他の地域との違いをもっと知りたかった。
- 子どもを安心して生み育てられる舞鶴ができるよう、市民としてできることを頑張る。市民一人ひとりが持っている「健康を維持する力」を引き出すことで医療の課題も少しずつ解決できると思う。
- 4病院の役割分担があり、患者が病院を選ぶのではなくなっているのだなと思った。医師不足はわかるが、ある程度病院間の競争があるほうが医療やサービスが向上すると思った。市外への患者の流出をどうにかしてほしい。
- 各病院と行政のトップが市民向けに直接発信される場が持たれたことは、とても有意義だった。今後の経過もこのような形で知らせてほしい。舞鶴市は他市に比べて人口減少が先行しているのではないかと思うので、独自の対策が取られるとよいと思う。
- 看護教育が充実しないと卒後に仕事をする人が増えないと思うので、うまく人材育成をしてほしい。
- AIによる効率化が進んで、人材不足の助けになればと思う。若い人が舞鶴に魅力を感じるようなアピールを頑張ってもらいたい。
- 平成21年に急性期基幹病院を一つにできなかった事により、多くの問題を生んでしまったことは事実である。全病院の職員は疲弊しており、早急な変革が必要である。
- 救急車をタクシー代わりに使う軽症患者等が多い。市民向けに平日昼間に受診するよう教育してほしい。市バスの本数や走行範囲を考えてもらい、受診者の足を確保してほしい。院内保育所、病児保育を充実してほしい。

- 看護師が働きやすい環境の整備や潜在看護師の育成に力を入れてほしい。勤務前からの研修やパソコンの共有、ネットワークで入院をスムーズにし、業務を減らしてほしい。
- 高齢者と子どもを別にするのではなく、赤ちゃんを連れた家族、高齢者が交流できる場があればいいと思う。
- 4病院が統合するのかわからないのかについて話し合っただけだった。
- 医師や看護師不足が深刻だが、効率化や診療方法の再考を社会全体で考えて、継続した医療ができればと思う。
- 人材不足が深刻であることはわかったが、病院の再編か効率的な医師配置かなど、連携して具体的に進めてほしい。
- 専門用語を含め、一般市民に馴染みのない話が続き、議論を迫りかけるのが難しかった。今後の具体的な展望を知りたいと感じた。

### **「ある程度有意義だった」と回答した医療従事者**

- ・ 各病院が協力体制を取ろうという方向性を持ち始めていることがわかった。
- ・ いつも聞いていることではありますが、改めて院長等の口から直接聞くことで、今後の一歩になると思います。
- ・ コンビニ受診の抑制啓蒙、病院運営の効率化推進
- ・ 4病院を1ないし2病院にしないと、今後の舞鶴の医療は潰れてしまいますということの再確認となった。
- ・ 地域医療の課題を市民に知ってもらう良い機会となった。
- ・ 他院の状況（自院の状況も？）よくわかりました。
- ・ 私の知りたいことがだいぶ説明されていた。
- ・ 改善策がない
- ・ 地域医療の現状把握をすることは出来た。
- ・ 各医療機関の現状が把握できた。

### **※自由記述欄**

- 夜間・休日の救急体制について、もう少し踏み込んだ議論をしてほしかった。
- 病院が考えること、市が中心に考えること、大学が考えていただくこと、市民が考えることがあると思います。いつまでも、古き良き時代のように病院があるわけではないので、新しい視点で考えていく必要があります。それを市がどんどん先取りして進めてほしい。
- 近い将来、舞鶴の医療が潰れてしまうことがわかっていながら、4病院が1or2病院になれない、ならないことを不満に思う。今更ながら、前市長の時に2病院になっていけばと思う。今後、そうならないように市長には頑張ってもらいたいです。
- 舞鶴の医療施設が分散していることで、非効率な医療提供であることを市民



に知ってもらおう機会となった。今後、具体的に地域医療を継続するために何をすべきか検討し、早期に着手してほしい。

- 民度を高めるといふか、健康教育を子どもから成人後も行っていき、三大疾病の罹患率を減らすことが必要かと思いました。休日の救急日の勤務は本当に大変で、少ない人数で余計なこと（予定外入院の取り扱い）は本当に大変です。老人の入院には、家族付添がほとんどですが、最低限のお作法（ADL と言える、認知症の有無、お薬手帳の携帯やハンコの持参など）を、子どもの対処法のようにパンフレットにして、全戸配布や地域説明会、職場での説明会（出前講座）をしてもらえませんか？
- 救急医療、内科（特に総合内科）系に関する議論があってもよかった。
- 課題については充分あげられているので、これらを早急に改善するための施策を進めることが大事。経営問題等、難しいことは多いが、スピード感をもった対応を願っています。
- 各病院の現状、医療体制について知ることができた。集約・再編が必要なのでは？とも思いますが難しそうですね。
- 課題解決のための意見が出て良かった。
- 現状はわかったが、今後、舞鶴の医療がどうなっていくのか、どんな方向で行っていくのか、もう少し具体的に話が聞きたかった。
- 今後の進捗についての報告などを希望します。
- 「こんなときどうするの」の大人・老人の巻を作成してほしい。
- 市民病院では救急診察はしないのか？隣の赤十字病院と 1 つにならないのか？
- このシンポジウムに出てくるような人は、なんとかしたいと思っている。それ以外の人をどう巻き込むかが大事だと思う。3 時間コースで資料もあるなら、机のある会場がよい。休憩時間もある程度あったほうがよい。Web 開催も入れてほしい。現状の問題はよく理解できたと思うが、ディスカッションの軸の対象が誰か（ターゲット）わかりにくくて、結局その立場でしか物が言えないから、シンポジウムを多職種にしてもよかったのではないか。昔から、4 病院あることが色々議論されていた前提があると思うが、はじめの市長さんの挨拶からだ、そもそも 4 病院あることが不思議なのだという風に感じてしまった。（フラットに話せるのが公開の強みではないかと思ったので）。“ない・難しい・出来ない” 話ばかりでは前に進めないから、次回は前に進むアイデア出しをもっとやってみたらいいと思う。本当に病院を減らすのがいいのかの前に、人材を確保して運営していくことを考えることが大切。これだけの外部を呼んでいるのなら、医師だけのディスカッションではなく、その際に意見を入れればよいのに、ずっと聞いているのはしんどい。第 2 部が延びたから立場的に色々事情があるにせよ、時間に始まって終わるのがよいと思う。時間になったら出ても良いという会場設定にしてもらえると有難い。

閉じ込められている感があって、換気もなくトイレに行けずにしんどかった。市民の声は、事前に聞いておくとか、それを題材に話を進めるとか、公開のあり方を考えてみてもよい。

- 3病院を1つの病院にしてほしい。福知山市民病院のような感じで。
- 連携の難しさも感じたが、集約していくことが必要と思われる。産婦人科ひとつをとっても、常勤医が増えても看護師・助産師が足りない。病院間で派遣というのも1つの方法だと思う。少しずつまとまっていくきっかけにならないか。公立の母子健康増進センターの話聞き、母が安心して出産・子育てをスタートすることで、家族が元気になる、地域が元気になる、医療がひっ迫することを緩和すると思う。働く人の疲弊が減るのではないか。
- 質疑応答の時間が少なかった。現場の疲弊・ひっ迫感について、十分に認識されていないように感じた。各病院の自助努力では、現状打開できないことは明らかのように思われます。病院再編や効率化のための改革については、現場の体力が残っているうちではないと手遅れになると思います。
- 府立医大加藤先生のお話で、複数の施設に医師が在籍するよりも、一か所に集約する方が医療の質が上がるという内容が印象的でした。病院統合の議論が今後進んでいくことを期待します。
- 人口、患者数は減っているが、救急は増えている。高齢化のこともあるだろうが、患者側の思考、質も変わってきたと思う。今後は、患者、市民への教育も大切だと思う。
- 医療従事者には良く理解できる内容でしたが、一般の方にもっとわかりやすい内容や言葉で伝えることが出来れば、より良かったと思います。
- 若い人が舞鶴に住みたいと思える環境づくりが必要。（商業施設など）
- 「多死社会」の対応について考える必要あり。
- 時間を気にされていたためか、意見を話されている途中で司会の方が次々進行されていたのが気になりました。
- 魅力ある舞鶴作りをして、人口を増やし若い人が流入するまちづくりが大事だと思う。

#### **「あまり有意義ではなかった」と回答した医療従事者**

- ・ 課題は明らかなのに、解決への方向性はほとんど示されていない。

#### **※自由記述欄**

- 私は勤務医ですが、幹部クラスではない中堅・若手医師の意見を舞鶴市から聞いていただいたことは、ほとんどないものと存じます。急性期3病院が分かれていることは非効率で問題が大きく、若手医師からはこの体制を馬鹿にされるような状況であり、ほとんどの勤務医は再編しかありえないと考えています。連携ではうまくいかないことは既に結果が出ているかと存じます。

なお医師不足の最も深刻な診療科は内科です。内科医のいない急性期総合病院はありえないわけで、病院内科医の効率を考えれば1つの病院にする以外に解決策はない。

- それぞれの病院が頑張っておられるのはわかりました。その4つの病院が1つとなれば安心できると思いました。今回そのような話がでなくて残念でした。呼吸器の医師が舞鶴にいないことも考えてほしいです。

#### **「全く有意義ではなかった」と回答した医療従事者**

- ・ 舞鶴の医療一本化について何も進捗なし。

#### **「どちらともいえない」と回答した医療従事者**

- ・ 人材不足について医師や看護師が働き続けられない原因は、出産・子育てだけではないと思う。
- ・ 医療体制について理解は深まったが、次につながる具体的体制が見えない
- ・ 中間発表という意味でも、まだ途中段階のシンポジウムなのかなという印象

#### **※自由記述欄**

- 舞鶴市内の医療現状についての討議で終わったように思う。問題点は見えてはいるが、各病院がどうしていくのかは、あまり発展的意見にはならなかった。これからも4つの病院でいくのですかね。具体的体制についての内容が聞きたかった。
- 市全体での地域医療への関心が感じられた。以前の市長は元医療人であったのに、こういうことが無かったので…。医療従事者として、人材確保は益々取り組んでいただきたく思う。

#### **その他（有意義かどうかは未記入であった医療従事者）**

- ・ 4つの病院が要るのか？急性期を集約して、NSの偏在をなくすことが必要ではないかと思う。このことで医療の質が向上し、持続可能な医療が提供でき、市民が安心して暮らせると感じます。地域住民もコンビニ受診をしないことが重要となります。「仕事が休めないから受診しました」と夜間にくることがないように。
- ・ （府立医大）北部キャンパス整備→具体的でわかりやすかったです。是非人材確保をお願いします。（舞鶴市）公的4病院の再編ですが、各病院の特徴・役割から担うべきことは明確なのに、課題はどこも一緒。運営に支障がでていいる。稼働率が上がらないと。そりゃ赤字ですね。→病院の内部事情の話ばかり。参加している市民の声はどうなんでしょう？

## 【医療従事者ではない参加者からの意見】

### 「とても有意義だった」と回答した非医療従事者

- ・ 各病院の話が聞けて、直面している課題が分かったから。
- ・ 市長、4病院、医師会、加藤先生が話をされるのが、とても貴重だった。
- ・ 各病院の話の直接聞けて、市長が直接市民に話したから。
- ・ 病院長が市民の前に出て話をするのは今までなかったから。
- ・ 市内4病院の院長の出席で話を聞くことが出来た。課題もはっきりした。
- ・ 人材不足など様々な課題について知ることができたから。
- ・ 舞鶴が直面している課題、人材不足について知ることができたから。
- ・ 各病院の特徴や活動について知れた。やはり、どの病院でも人材の不足は大きな課題となっていることが分かりました。医師・看護師数が減っている中、救急の患者は増加していた。そんないくつかの課題について考える機会となったから。
- ・ 舞鶴にある病院の特徴・課題を知り、就職する際にも役立つと思ったから。
- ・ 知らなかった地域医療の課題点を詳しく知ることができたから。
- ・ 舞鶴の医療課題を知り、自分に何ができるか考えるきっかけになったから。
- ・ 何が問題なのか各病院の役割が理解できたから。
- ・ 今の舞鶴の医療人材不足の現状を知ることができたから。
- ・ 4月から看護師になるので、地域の医療現状を知ることができてよかったです。
- ・ 市の医療体制の変遷や現状がよくわかったから。
- ・ 医療の現状を院長の言葉で知ることができたから。
- ・ 市長と病院長から医療の現状が聞けて理解できたから。
- ・ 舞鶴の医療の現状を知ることができたから。
- ・ 各病院の内容や医療従事者の減少で苦労していることが分かったから。
- ・ 全体的な構想や時代の流れがよく理解できた。
- ・ ディスカッションで連携の重要性を学べたから。
- ・ 課題が見えてきたから。

### ※自由記述欄

- 医療の現状は理解できたが何を指したいのかが曖昧だったので、もう少し踏み込んだ内容のほうが興味を持たれると思う。
- 今後の地域医療を守るため、市民、医師会、各院長との連携をしてほしい。
- 医師、看護師の不足がとても気になった。「子どものことで…」ということで休んだりすることを嫌がったりする周りの環境にもよる。もう少し働く人の人間関係にも目を向けられたらと願う。
- 医師たちと参加者の認識の差を感じた。パネラーの話をもっと引き出すべきである。「医療の生産性を高めるために機器を活用する」は少し違うと思う。
- 今より働きやすい環境になればいいなと思う。

- 他エリアでむしろ医師の偏在を進めることで特色を出している成功、失敗事例も学びたいと思った。経営状況を知ること、市民にできるサポートもより積極的に行われるのではないかと感じた。
- 病院の現状とそこで働いている人の考え方が共有できた。市民に何ができるのか、もっと議論してほしい。
- 4 病院と医師会の全ての病院が人材不足を課題としていることが分かった。医療従事者として就職する際は、地域（舞鶴）で就職しようと思った。
- 看護師の不足について、看護師のライフスタイルに合わせて働き続けられるような環境が大切だと思った。
- 災害時の医療体制や活動への派遣支援は本市でも見通しが持てる気がするが、避難所の運営に学校職員がどれだけ携われるか不安である。能登の震災を機に考えたい。
- 「子育て日本一」のため、産科、小児科の安心安全体制を確立してほしい。
- 市民の協力が必要だと思った。経営としての医療と市民中心の医療をどのように両立させるかが難しい。再編が必要ではないかと思う。
- 各病院長の本音を聞いて参考になった。
- 市にお金が入ってくるように、市長は国や府へ働きかけてほしい。
- 救急医療の分析をしてほしい。その上で、不要な 119 番通報をやめることや、かかりつけ医を持つよう広報すべきである。4 病院だけでなく、開業医も含めた機能分化を考えるべきである。
- 安心して受けられる医療体制の確保をお願いする。
- 日々の生活や今後の本市の医療に関わる内容で、大変参考になった。他業種の取組内容は新鮮で勉強になった。
- 現状を理解できて有益だった。高齢者も次世代に負担を残さないよう、健康に留意したいと思った。
- 舞鶴の医療について解りやすく説明してもらい、良かった。
- このアンケートだけでなく、ホームページでの感想の記入も受け付けてほしい。
- 市民病院を以前のような外来を受け付ける病院に戻すことはできないのか。
- 4 病院は非効率であり、再編統合で住民に魅力のある病院にすることが必要である。府の役割も重要である。
- 市内に市立総合病院があればうれしい。かかりつけ医と連携できる総合病院への取組をお願いしたい。
- 公的病院を合わせて舞鶴市の総合病院となることを、市民として理解している人は少ないと思う。時間をかけてでも、少しずつ小さくしていく必要があるのではないか。4 つの病院が存在することは難しいと思う。
- 市長、医師の話がよくわかった。この会に出席してよかった。
- 院長の生の声が聞いてよかったが、各病院の説明に時間が取られ過ぎで討論

の時間が少なかった。舞鶴の病院が維持できるのか、人材不足が気になる。

- 医療従事者の育成に助成金を出してほしい。
- 大変参考になり、参加してよかった。マイクの音量が小さくて聞きづらかったことと、第2部の舞台が暗かった。
- このようなイベントを毎年行ってほしい。

### 「ある程度有意義だった」と回答した非医療従事者

- ・ 公的4病院長の話の直接聞く機会はこれまでになかったから。
- ・ 考える会のまとめを聞くことができ、各院長さんの思いも聞くことができた。市の人口が減少する中、「持続可能」とは何なのか、みんなで考えたいと思います。
- ・ 地域医療について詳しく学べたため
- ・ 市内公的病院の機能や現状、課題等が一定理解できた。
- ・ 直面する課題→現状が理解できた。
- ・ 今の医療状況について、ある程度詳しく知ることが出来た。
- ・ 普段聞けないような内容が聞けた。
- ・ 病院の実態がよくわかった。医療資源の効率的な配分の必要性についてよく理解できた。
- ・ 市民に広く認識されるきっかけになったと思う。
- ・ 各病院の特色がわかった。
- ・ 全部は聞けなかったので途中までの感想です。期待していた内容ではなく残念。しかし良かった点は9時30分に着いた時も、玄関より受付の方や案内の方がおられ、早く着いたのにもかかわらず親切に対応してくれた。ありがとうございます。
- ・ 今後の展望、自助・共助・公助ですか。もう少しビジョンがわかりやすければよかった。
- ・ 会場からの質疑応答をもっと取るべき。延長して取っていただき有難かった。
- ・ パネルディスカッションがメインの行事だと捉えていたが、肝心のパネルディスカッションがいまいち。
- ・ 具体的に人員不足を解決する方法が聞けなかった。また交通事故の時は脳外・整形・外科の医師のいる病院が必要だと思うが、そのことをどう考えているのか不明。
- ・ 現状説明の場？
- ・ 4病院の連携の話が聞けた。

### ※自由記述欄

- 本日、共有した課題に対して、今後どのように具体的にアプローチしていくかを公開いただきたい。ホームページや動画、配信のような形でもOK。
- 人材確保は、どの業界でも課題ではあると思います。その中で、多くの病院が

それぞれの役割を果たしている舞鶴は恵まれているのでは。一旦、都会へ出てUターンしてくれる若者を増やす方法を、現在の大人で考えていかなければ。ある程度、外来を減らすためにオンライン診療のシステムを構築するなども必要では。4つの病院の役割をしっかりとわかっている市民は、どれくらいいるのでしょうか。近年、もう大きな病院では診てもらえないという印象です。ですので、一般市民からすると、そんな大きな病院は4つもいないのではと思います。看護学校の閉校により、さらに人員不足が加速しそうです。広報に力を入れて、役割や魅力を発信する必要があると思います。

- ▶ シンポジウムの内容が、ときに専門的・技術的になった。市民目線レベルでの理解、掘り下げに繋がる工夫が必要ではないか。
- ▶ 他人事にせず、この問題が少しでも改善できるよう協力したいと感じました。
- ▶ 12年前、選択と集中・分担と連携をコンセプトとした医療体制を市民は選択したが、結果的には平成21年4月の再編推進委員会で示されたグランドデザイン案が良かったのではないか。途中で4病院の連携機構を解散し、情報連携システムも機能できなかったのは、行政の大きな誤りであったのではないか。
- ▶ 当事者から生の声が聞けた点は有意義であった。コーディネーターが市民病院院長だったが適切なのか？行政（市立）側でなく、第3者が適當。病院の統合へと誘導したものであったのではなかったかと感じた。（自分は統合が必要と考えているが）
- ▶ 病気になるような取り組みも必要かと思います。学校給食にサプリメントなど、健康管理を子どものうちからすること。
- ▶ 申込完了画面や受付が確実にできたとのお知らせがなかったので不安になった。主催者に電話をして確認をしたほど。そういう人もいるんだと思ってほしい。資料をみたらわかることは説明要らない。会場の人数が席数よりも上回っていて息苦しかったので、広めの会場でゆとりのある席で聞きたい。またはリモートも希望します。会場に来れない体調の時もありますので。YouTubeのやばいぜ舞鶴を見て、舞鶴の医療について興味をもった。あちらの方が詳しくてわかりやすいです。
- ▶ 市長の説明で、救急搬送困難件数が出ていたが、コロナの事情もあると思うが、この件数というのは中丹の他市（綾部・福知山）と比較して多いのか？どこの市もこの程度はあるのか？舞鶴は問題があるのかの説明がなく、状況判断がしづらいです。現場滞在が長いことで、その後の予後に影響しないのか不安。本日のシンポジウムについて、市ホームページで参加していない人も視聴できるように公開してほしい。コーディネーター自身の意見を挟みすぎ。（病院長でない方が良かった）課題をまとめなくてもいいです。
- ▶ パネルディスカッションのファシリテーターが…。法里先生が看護部長にふられたのは良かったと思っていましたが、後が続かなかった。進め方の問題。

ファシリテーターの人選がよくなかったと思う。パワーポイントのスクリーン下部が見えません。

- 平成 24 年に「あたかも一つの総合病院」と計画されたが、以降そのようになっているのか？診療科目の重複など。各病院の説明は、もっと短くてよい。
- 医療体制の充実を望みます。高齢者の健康を守り、元気に生きられるような施策・対策を。
- 難しい内容があったけど、今の現状を知って今後になんか少しでも繋げていけたらいいかなと思った。
- 医療シンポジウムで舞鶴医療の現状を知れる機会となりました。
- 今回は院長でしたが、現場の生の声も聞きたいです。そうすることにより、もう少し細かい課題が見つかると思う。
- 今後の地域医療、4 病院のあり方についての核心あるいは道筋について言及されなかったのが、次回に期待したい。しかしながら、有意義な機会であったと思います。
- 舞鶴の医療の課題等を聞くことができ、参加して良かったです。今のところ大きい病院にお世話になることなく過ごしておりますが、ご家族が入院などをされた方々にお話を聞きますと、少し考えていただきたいと思いました。市民病院に入院中、面会は 15 分間のみ、次の面会の予約は病院を出てから電話で 7 日間あけた日を予約する。電話をしても、なかなか予約が取れない。意識がない患者さんですが、毎日のように会いに行き声をかけたり、さすったりしたいという方。末期の卵巣がんで、与謝の海に入院。(舞鶴では無理) 本人の希望で一時退院され、体調悪化し最後数日間の看取りの入院も与謝の海。亡くなる前の数日でも舞鶴の病院で看てもらえないものか。医療は技術も必要ですが、心が満たされることで納得できる。
- 大変参考になりました。今後については、人材確保も含めた課題に関心があります。医療連携等については、今後も検討いただきたいと考えます。20 代～30 代の睡眠医療従事者を確保して、小児医療の充実も不可欠ではないかと考えます。同時に、病児保育の充実(受入人数の増)が、安心して勤務が出来るのではないかと考えます。研修の医療従事者に定着してもらうには、街に魅力を持たせることが必要と考えます。医療従事者(他地域)に魅力の発信を！！
- 自助・共助・公助の言葉を初めて知りました。地域医療を考えるきっかけになると思います。
- 福知山のように、将来統合すべきだと思います。
- 医局(大学)との交流が大事。(他地域住民)
- 看護人材確保も大きな課題です。パネルディスカッションは男性ばかりで、看護部長お一人でも参加するのが良いと思います。また、市内唯一の看護学校である日星高校の関係者の出席もあると、より課題も明確になるかと思いま



す。

- 難しい内容の話だった。
- 今回出た問題について、いつ誰が変えていくのか、具体的に話さないと変わらないと思う。
- 今更？加藤氏は舞鶴の地域医療（今回のシンポジウム）に必要なコメンテーターか？目的は何？何も結果は見えないが。

#### **「あまり有意義でなかった」と回答した非医療従事者**

- ・ 将来のビジョンが見えなかった
- ・ 現状については多くの市民が理解しているところであるが、肝心の今後についての具体策がなく、これでは何度実施しても問題の解決になるとは思えない。市長は医師会に丸投げしているだけにみえる。

#### **※自由記述欄**

- 少子高齢化の波はくることがわかっていただけで…。人口減少もわかっていた話。市長からは何のビジョンも見えなかった。残念です。
- 舞鶴市の医療問題については現市長が選挙の公約として掲げておられ、それではと票を入れた市民も多いと思う。当選のためだけの公約であるならば、我々市民は裏切られたとしか思えない。

#### **「全く有意義でなかった」と回答した非医療従事者**

- ・ 内容がない。わかりきったこと。だからどうするのか？

#### **※自由記述欄**

- 話し合いました、意見を聴きました、など無意味です。具体的な取り組みがない、首長自ら奔走し、医師確保など何もしていない。公約はどうなった？まずは人口問題を！人口増加しないと舞鶴は終わります。口だけの市長など要らない。
- 舞鶴の医療を少し知ることができたのはよかった。

#### **その他（有意義かどうかは未記入であった非医療従事者）**

- ・ パネルディスカッションは意義があった。ただし、司会者がパネラーの意見を上手く引き出す技術が肝要。

#### **※自由記述欄**

- 正に市長の報告は中間報告にすぎず、具体性がなく、最終の結論・提言を注視したい。各病院の実態が良く理解できた。（各院長さんの説明により。）司会者の発言が多すぎる。4病院統合を考えるのは時期尚早と感じた。司会者（井上

氏)の発言内容が聞きづらい。救急医療は市民としても考えなければならない。

- 医師の献身に依存した体制を見直す必要があると感じた。持続可能な医療提供体制のために、集約と役割分担をどうするのか考える必要があると感じた。
- 機能別医療は重要。4病院の結束はとても難しいことだけど地域のために重要
- 今後もシンポジウムをやらないといけない。中途半端であった。病院紹介で終わった。で、市は何を考え、何を実施するのか、いつまでに。

### **【医療従事者区分が不明】**

- ・ 医療資源の集約をしていかなければ、成り立たないことは参加者全員わかっていること。どのように実現させていくか(自分のところの病院の科を減らす等)、各立場があり明言できないことがある様子。各病院が、新しい病棟を建てる前に決断すべきだった。素直に考えると、東舞鶴の共病と医療センターの統合、西舞鶴は日赤。